



# 洗濯ジャーナル

発行元  
クリーニングつき山  
〒 617-0005 京都府向日市向日町南山十  
Tel 075-921-0426  
Fax 075-935-5065  
http://www.cl-tsukiyama.com

監修  
サボリ博士 平成16年8月  
http://sabori.fc2web.com/  
クリーニングよろず相談  
http://www.azaq-net.com/bbs/  
bbs.cgi?goinkyo

Vol.

## {漂白剤について}

漂白とは、化学反応により成分を壊し汚れを落とすことです。巧く使えば、黄ばみや付着した皮脂まで落とすことができます。ただし失敗すると染色や繊維まで痛めてしまいます。しかし、決してこわがることはありません。用途にあわせて用法をまもれば、洗濯のつよい見方になってくれます。

### 【色が薄くなったりハゲたりしないの(?\_?)】

漂白剤は反応する時間が必要です。衣類の色(染色)柄(プリントなど)とシミとでは、漂白剤が反応する時間がことなります。また温度や酸・アルカリによって反応がことなります。それらを繊維や染色の種類にあわせて使うことにより安全に漂白することができます。

### 【漂白剤の種類は】

家庭でよく使われる漂白剤は、酸化漂白と還元漂白の2つに分けられます。また酸化漂白は塩素系と酸素系にわかれ、酸素系のうち酸性とアルカリ性があります。それぞれ、用途に合わせて使いましょう。

### 《つけ込み漂白》

漂白剤は、洗剤と一緒に洗濯機に入れても効果はありますが、より漂白効果を得るには「つけ込み漂白」です。夏物の黄ばみ防止にも効果的です。

まずは洗濯してよけいな汚れを落としておきます。

洗面器などに40℃の水と定量の漂白剤を入れ、漂白ムラがでないようによく混ぜて洗濯物全体をしっかりと浸けます。

時間は30分以内長くても1時間までにしましょう。

一度しぼってから、あとはよく濯ぎましょう。酸化漂白剤には、すすぎのさいにオチョコ一杯ほどのお酢を入れると中和されますのでお試し下さい。

## “漂白剤の種類”

ハイター・ブライツ(塩素系・液体)  
洗えるモノ・・・白い綿や麻(生成でないもの)  
温度・・・常温  
濃度・・・洗濯機の場合=水30リットルに対して70 ml  
つけ込みの場合=水1リットルに対して10 ml  
注意・・・絶対に原液をつけない。手が荒れるので手袋をする

液体ワイドハイター・手間なしブライツ(酸素系・酸性・液体)  
洗えるモノ・・・絹・毛以外のもの、原色・濃い色は注意  
温度・・・常温・つけ込みの場合は40  
濃度・・・洗濯機の場合=水30リットルに対して40 ml  
つけ込みの場合=水1リットルに対して20 ml

ワイドハイター・カラーブライツ(酸素系・アルカリ性・粉末)  
洗えるモノ・・・色・柄もの、水洗い出来る絹・毛  
温度・・・常温・つけ込みの場合は40  
濃度・・・洗濯機の場合=水30リットルに対して10 g  
つけ込みの場合=水1リットルに対して5 g  
注意・・・粉末なので、よく溶かしてからつかうこと

ハイドロハイター(還元系・粉末)  
特徴・・・鉄分による黄変を回復  
塩素系や酸素系漂白剤による黄ばみを回復する  
洗えるモノ・・・白モノ  
温度・・・40  
濃度・・・水2リットルに対して5 g(つけ込みで使う)

### (^^)ワンポイント(^^)

酸化還元反応は、金属に著しく反応します。ですから、金属のボタンやバックルなどの付属品は、取り外してつけ込み漂白をして下さい。また、一部の染料には金属を含み、それが変色するケースがありますので、(^^;)やはり色物は注意が必要です。